

前期学校生活を再開するにあたって
～学校努力点より考える～

暑い暑い夏休みが終わり、まだまだ残暑厳しい折、前期の授業が再開されます。中央高校の生徒の皆さん、夏休み中は有意義な時間を過ごすことはできましたか。久しぶりに登校した生徒もいると思いますが、校門を入ってすぐの正面にある看板がリニューアルされたのは気付きましたか。

その看板には、本校の「学校教育目標」と「学校努力点」が掲げられています。今回は、その内の「学校努力点」について、少し想いを綴ってみたいと思います。

(1) 将来の夢や目標に向かい、主体的に学ぶ態度を養う。

幕末に松下村塾を主宰した思想家の吉田松陰が残した言葉を紹介します。

夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。 故に、夢なき者に成功なし。

夢に向かって理想を描き、描いた理想に沿って計画し、計画通りに実行し成功を収める。普段こんなに上手く事は運びませんが、夢や目標を持つことの大切さを感じる言葉ですね。さてこれから迎える秋という季節は、「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」などと称され、何をするにも暑過ぎず寒過ぎず取り組みやすい季節です。また学校行事に関して言えば、10月から11月にかけては、中央高校の一大イベントである中央祭やスポーツフェスティバルが予定されています。是非生徒の皆さんには、いろいろなことに挑戦したり、多くの行事に積極的に参加したりして、将来の夢や目標に向かって主体的に学ぶ姿勢で臨んでほしいと思います。

(2) 人間性豊かで社会性に富んだ人格の形成を図る。

コロナ禍で注目を浴びたものの一つにオンライン学習があります。環境さえ整っていれば、自主的に自分のペースで学習を進めることができます。しかし一方で、「みんなと一緒に勉強したい。」といった声も多く聞かれました。オンラインでの学習にも利点があると思いますが、これまでの対面授業や教室の中で仲間と一緒に受ける一斉授業にも利点はあると思います。特に後者では、他者との関わりの中で育まれる人間性や社会性も大切な視点であると感じています。授業に限らず、前述の行事なども通じて、是非多くの仲間との関わりの中で、豊かな人間性や社会性に富んだ人格が磨かれることを期待しています。

中央高校の先生方はいつでも皆さんを応援しています。

頑張れ！中央生！

令和2年8月31日
学校長 内木泰志

